

化学療法治療レジメン

申請書
計画書

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉 → 〈化学療法委員会〉

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉

芳珠記念病院化学療法委員会

治療レジメン名：	乳腺-16 アバスチン+アブラキサン	総投与時間：約100-160分
申請医：矢野 聖二Dr	催吐性リスク：軽度	最新登録日：2021年 8月

	薬剤名	投与方法	投与量	投与日	クール
	アブラキサン(nabPAC)	div	260mg/m ²	D1	3週間
	アバスチン		10mg/kg		
対象(適応癌種)	手術不能又は再発乳癌				

	薬品名【投与量】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	デキサート 6.6mg (適宜漸減) 生食 100mL	div (ケモセーフ)	250 mL/hr			D1
Rp2	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp3	アブラキサン【 mg/body】 生食 100mL ※生食100mLから必要量の懸濁用生食を抜き取る。残った生食はすべて抜き取り点滴バッグを空にする。 ※1バイアル(100mg)当たり生食20mLで懸濁する。		() mL/hr (30分かけて)	260 mg/m ²	mg/body	
Rp4	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp5	アバスチン【 mg】 生食 100mL		初回 60mL/hr 2回目 100mL/hr 3回目以降 200mL/hr	10 mg/kg	mg/body	
Rp6	生食 50mL		500 mL/hr			